

## Diurnal Variation of Precipitable Water in Clear Days over the Northern Mountains in Kanto Plain

Fujio Kimura\*<sup>1</sup>, Ryoichi Tanikawa\*<sup>2</sup> and Masanori Yoshizaki\*<sup>3</sup>

\*<sup>1</sup> (Corresponding author) University of Tsukuba, Institute of Geoscience, Tsukuba 305, Japan.

\*<sup>2</sup> University of Tsukuba, Master's Program in Environmental Sciences.

\*<sup>3</sup> Forecast Research Department, Meteorological Research Institute.

(Received 14 October 1996 ; Accepted 8 August 1997)

### 日本気象学会1997年度秋季大会の報告

日本気象学会1997年度秋季大会は、北海道大学学術交流会館および百年記念会館を会場として1997年10月7日(火)～9日(木)に行われた。参加者数(前納登録者と当日受付者の合計)は627名(一般会員362名, 学生会員183名, 非会員82名)であった。

2日目午後には、学術交流会館2階講堂において山本・正野論文賞が植田宏昭氏と小林文明氏に、堀内基金奨励賞が神沢博氏と川村宏氏に授与され、また日本気象学会奨励金が山下龍平氏と花宮廣務氏に贈呈された。その後、山本・正野論文賞と堀内基金奨励賞の受賞記念講演が行われた。引き続き、大会シンポジウム「北極圏の大気環境と物質循環」が行われた。

一般講演の発表申込み件数は352件(ただし、キャンセルが数件あった)で、過去最高であった。

その内訳は第1種講演が235件、第2種講演が30件、ポスターが87件であった。第2種講演として申込まれた講演のうち、予稿が第2種の要件を満たさない等の理由でプログラム編成時に第1種に変更したものが2件(1996年度秋季大会は8件)あった。今回は、特にポスターが目立って増加したため、大会実行委員会にはポスター会場の確保に特段のご尽力をいただいた。

会期中およびその前日と翌日には、個別のテーマによる研究会が4件開かれた。

最後に、今大会事務局として大会準備・運営にご尽力いただいた札幌管区気象台、北海道大学をはじめとする北海道支部の皆様深く感謝の意を表します。

1997年10月講演企画委員会